

レジメンスケジュール

診療科	血液内科
適応	多発性骨髄腫
レジメン	血内MM VPd療法

申請・改訂日	2023年3月
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
がん化学療法レジメンハンドブック	

全クール																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day4	...	day8	...	day11	day21	
①	○	デキサメタゾン	20mg/body	内服/点滴			day1,2,4,5,8,9,11,12に投与													終了
②	○	ボルテゾミブ	1.3mg/m2	皮下注			○		○		○		○							
		生理食塩液	1.2mL/Vで溶解																	
③	○	ポマリトミド	4mg	内服			day1-14内服(2投1休)													

ボルテゾミブ投与量	
通常量	1.3mg/m2
1段階減量	1.0mg/m2
2段階減量	0.7mg/m2
3段階減量	投与中止

減量・中止基準

ボルテゾミブ

副作用	程度	処置
血液毒性	G4	回復するまで休薬する。投与を再開する場合は減量する。
末梢性ニューロパチー、神経障害性疼痛	疼痛または機能消失を伴わないG1(症状がない: 深部腱反射の低下または知覚異常)	用法用量は変更しなくてもよい。
	疼痛を伴うG1またはG2(中等度の症状がある: 身の回り以外の日常生活動作が制限されている)	1段階減量する。
	疼痛を伴うG2またはG3(高度の症状がある: 身の回りの日常生活動作が制限されている)	回復するまで休薬。回復した場合は0.7mg/m ² 週1回投与に変更する。
上記以外の非血液毒性	G4(生命を脅かす: 緊急処置を必要とする)	投与中止
	G3以上	回復するまで休薬する。投与を再開する場合は減量する。

ポマリトミド(添付文書より)

副作用	程度	処置
血小板減少	25000/mm ³ 未満	50000/mm ³ 以上に回復するまで休薬後、休薬前の投与量から1mg減量して再開する。再開後に再び発現した場合も同様の対応とし、1mgに減量した後も発現した場合は本剤の投与を中止とすること。
好中球減少	500/mm ³ 未満に減少またはFN	1000/mm ³ 以上に回復するまで休薬後、休薬前の投与量から1mg減少して再開する。G-CSF製剤を使用していない場合は使用を考慮すること。再開後に再び発現した場合も同様の対応とし、1mgに減量した後も発現した場合は本剤の投与を中止とすること。
皮疹	G3	G1以下に回復するまで本剤を休薬し、再開は休薬前の投与量から1mg減量すること。再開は患者の状態に応じて判断すること。再開後に再び発現した場合も同様の対応とし、1mgに減量した後も発現した場合は本剤の投与を中止とすること。
	G4または水泡形成	本剤の投与を中止とすること。
その他の副作用	G3以上	G2以下に回復するまで本剤を休薬し、再開は休薬前の投与量から1mg減量すること。再開は患者の状態に応じて判断すること。再開後に再び発現した場合も同様の対応とし、1mgに減量した後も発現した場合は本剤の投与を中止とすること。